



二小っ子

元気いっぱい やさしさいっぱい 本気でがんばる二小っ子

第10号

令和6年1月10日

天理市立二階堂小学校

文責 島田 宇一郎

新たな希望と決意で飛躍の年に！ 二小っ子



能登半島地震で被災された方、そして今なお安否不明の方のことを思うと胸が痛みます。年明けと同時に起こった大きな震災に、地震国日本に住んでいることを再認識させられました。

新たな希望と決意をもって、新しい年をお迎えのことと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

三学期の始業式で、メジャーリーガーの大谷翔平選手から届いたグローブを紹介しました。右利き用のグローブが2個、左利き用のグローブが1個、そして、「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。野球しようぜ」という大谷選手のメッセージが入っていました。

大谷選手は、打っても投げて素晴らしい記録を残しています。しかし、大谷選手がすごいのは、ピッチャーやバッターとしての技術だけではなく、たくさんのファンや選手の心をつかんだのは、大谷選手の日頃の行いや態度です。グラウンドに落ちているゴミを拾っている姿、笑顔で人に接する姿、決して審判の判定に文句を言わない姿 …などです。



大谷選手は、学生の頃、プロ野球選手になるという目標をかなえるために大切なことのひとつとして「運をつかむ」ことが必要だと考えました。そして、自分に運を引き寄せるために、次の8つのことを必ずすると決めていたそうです。

- ①「ごみ拾い」
- ②「あいさつ」
- ③「部屋そうじ」
- ④「プラス思考」
- ⑤「応援される人間になる」
- ⑥「道具を大切に使う」
- ⑦「審判さんへの態度」
- ⑧「本を読む」

大谷選手はこれらのことを、自分の生活している様々な場所で、人が見ていようと見ていなくても、当たり前のこととしてやり続けてきました。単に野球の技術を磨くだけでなく、人としての心がけをずっと磨き続け、自分が出会う人を大切にすることと続けてきました。だからこそ、大谷選手はよい運を引き寄せることができたのです。

みなさんは、大谷選手の考え方・生き方をどう思いますか？ 私は、「目標をもって努力すること」「人に対する思いやりの心や接し方、言葉遣いなどが大切である」ということに、改めて気付かされました。「習慣が人をつくる」という言葉があります。正にその通りだと思います。日頃の行いや態度がいかに大切かを考えさせられます。

SNS・ネットの危険性② “待ったなし”です！



お子さんにスマホ等の端末を所持させておられる場合は、保護者様の責任のもと、家庭でのルール危険性などを親子で十分話し合うこと、また、保護者による見守りや管理、フィルタリングの設定を必ずしていただきますようお願いいたします。

思ったことを言ってしまうと…。

SNSなどネットを使ったコミュニケーションでは、トラブルが起こりやすいのが現実です。対面だと、相手の表情や声の調子から相手の気持ちを感じ取って話ができますが、文字だけのやりとりでは、相手に気持ちを伝えたり、相手の気持ちの変化を感じ取ったりすることがとても難しくなります。実際に本校でも高学年を中心にトラブルが起こり指導もしています。他にも表面化していない事象があるのではないかと危惧しています。

例えば、「イイねを押す」「LINE外し」など、何気なくやったことで、相手を思った以上に傷つけてしまうことがあります。また、ネットで思ったことを言うことで、誰かを傷つけてしまったり、苦しめてしまったりすることもあります。友達が悪口を書き込んだり、広めたり、メッセージを送りつけたりして本人を傷つけると、それはいじめです。友達や自分の命に関わることにつながりかねません。実際に、世の中では、ネットの誹謗中傷のために命を絶つということが起こっています。軽い気持ち、いじわるな気持ちで言ってしまったことが、人の人生を狂わせることにつながりかねません。もしそんなことになれば、自分が一生責任を負うことになります。軽い気持ちでは済まされません。

相手の気持ちをしっかりと考え、正しく伝わる言葉、丁寧な言葉でのやりとりが必要です。安易な言動の危険性や影響をしっかりと分かってほしいと思います。

★毎月の行事予定と下校時刻を、二小ホームページに掲載しています。 →

